

## 茂田病院事業管理者から

### 県政の変革期にあたって



この度、県政のトップである佐藤栄佐久知事が土木事業入札談合疑惑の責任をとって辞職するという事態になりました。ことの真偽は別として我々病院局本局及び各県立病院は公的な医療を実践する機関として、常に業務内容の透明性、公平性に気を配ってゆかねばなりません。

これからしばらくの間は、知事不在のまま県政業務を遂行していくこととなりますが、先日、知事職務代理者となった副知事の訓示がありました。「今回の県庁における未曾有の事態に対して真摯に対処し、改革すべき点は積極的に改革し、しかし萎縮することなく業務を遂行していこう。」ということでありました。私は県立病院事業についてもすでに決定された改革実行方策に従って、方針を変えることなく淡々と、しかも迅速にことを進めるべきであると思います。

折しも国の政府も総理大臣の交代で安倍新政権となり、今後も改革路線を継承するものと思われます。国家予算の削減・医療費診療報酬の削減という流れのなかで、決められたプールの中から互いに金をむしり取る形の日本の医療制度のなかでの病院経営では、どこかの病院が高収入をあげればそれに見合うだけどこかの病院の収入が落ちるのです。ですからそれぞれの病院が工夫を凝らして経営改善に努力し競争に勝たなければ、落ちこぼれた病院は縮小やがては廃止という運命をたどるようになっていきます。おそらくこれから県知事選挙が行われ新知事による施政方針が明らかになるとと思いますが、県立病院改革の方針が大きく変わることはないだろうと思います。勿論、医療の地域格差は是正されるべきであり、また是正の方向に向かって行くと思いますが、我々は自分たちの力で一刻も早く県立病院の経営を健全化し、自立への流れを太くして、職員が自意識を高めて、生き生きと勤務し、県民のニーズに叶った病院ネットワークを構築していこうではありませんか。



## トピックス

### 他の自治体病院の経営改善事例（川崎市）

川崎市病院事業(3病院)は、平成17年度決算で対前年比で約16億3千万円改善しました。この結果、純利益が5億7千万円となり8年ぶりの黒字決算となりました。以下に、平成17年度の川崎市病院事業の主な取り組みを紹介します。

#### 職員の意識改革・診療サービスの充実

患者本位の医療の提供として、職員の自発的な早出出勤により、診療開始時間の繰上を行った。  
土曜診療を実施した。



#### 人事給与制度改革

特殊勤務手当の見直しを行った。  
医師勤勉手当への実績評価を導入した。  
中核病院に看護師副院長を誕生させた。

各自治体で状況は異なりますが、職員一人一人が病院を良くしようと思ひ、行動することが必要ではないかと思ひます。

## 会津統合病院（仮称）

### 事業説明会を開催しました

去る9月22日、統合病院建設予定地の地権者及び周辺地区住民を対象とした「事業説明会」を開催しました。今回の説明会は、統合病院を整備することを決定してから初めての地元説明会であり、地元区長(高畑、郡山、本宮地区)を始め約40名の方が出席されました。

説明会では、統合病院を整備することを決定するに至る経緯、統合病院の医療機能、開院までの大まかなスケジュール、敷地の位置等を説明しました。

今後は、今年度内の用地取得に向けて、地権者との交渉・用地測量を行う等、着実に統合病院の整備を進めてまいります。



～ ご意見・ご感想をお寄せください～

**親切 信頼 進歩**

Eメール:kaikaku@pref.fukushima.jp FAX:024-521-7924【病院局改革グループ】